

4年次

## 肝・胆・膵Ⅱ

### 【Hepatology・Biliary-PancreatologyⅡ】

担当責任者 教授（第3内科学） 原田 大

ねらい

肝・胆・膵疾患の病態生理を理解するとともに、鑑別すべき疾患を考慮しながら適切に診断し、最適な治療法を選択できることを目標とする。

学修目標

1. 主要な肝・胆・膵疾患の病因、病態生理、鑑別すべき疾患を挙げることができる。
2. 基本的な診療法を述べることができる。
3. 主要な検査法の適応と、その意義を列挙することができる。
4. 主要な肝・胆・膵疾患の治療の基本について説明できる。

事前事後学習の方法

配布された講義資料をもとに復習をすること。

成績評価方法・基準

100点満点で60点以上が合格

成績は、各担当講座の成績を総合的に判断する

○教科書

〈第3内科学〉

矢崎義雄編 「内科学」第11版 2017年 朝倉書店

〈第1外科学〉

畠山勝義 監修 「標準外科学」第14版 2016年 医学書院

武藤徹一郎ほか 監修 「新臨床外科学」第4版 2006年 医学書院

○参考書

〈第3内科学〉

福井次矢、黒川清 監修「ハリソン内科学」第5版（全2巻） 2017年 メディカル・サイエンス・インターナショナル

小俣政男 監訳「“シャーロック”肝臓病学」第11版 2004年 西村書店

〈第1外科学〉

武藤徹一郎ほか監修「新臨床外科学」第4版 2006年 医学書院

Sabiston 「Textbook of Surgery」第19版 2012年 Saunders

山崎晋 編 新癌の外科—手術手技シリーズ 7.「肝癌」 2003年 MEDICAL VIEW

小菅智男 編 新癌の外科—手術手技シリーズ 6.「膵癌・胆道癌」 2003年 MEDICAL VIEW

4年次

第3内科学

講義:2201講義室

年 月 日	曜 日	時 限	授 業 項 目 ( 内 容 )	コアカリ項目			担 当 者
				大項目	中項目	小項目	
			胆嚢、胆道系疾患	D	7	1,2,4	中村 早人
			自己免疫性肝疾患、代謝性肝疾患	〃	〃	4	原田 大
			肝腫瘍(肝細胞癌以外)、肝膿瘍	〃	〃	〃	阿部 慎太郎
			脂肪肝、その他の肝疾患	〃	〃	〃	成田 竜一(学外)
			肝不全	〃	〃	〃	田原 章成
			膵癌	〃	〃	〃	大江 晋司
			膵神経内分沁腫瘍、その他の膵疾患	〃	〃	〃	田口 雅史(学外)
			肝硬変、門脈圧亢進症	〃	〃	〃	田原 章成

第1外科学

講義:2201講義室

年 月 日	曜 日	時 限	授 業 項 目 ( 内 容 )	コアカリ項目			担 当 者
				大項目	中項目	小項目	
			肝胆膵総論	D	7	4	佐藤 典宏
			胆道良性疾患	〃	〃	〃	田村 利尚
			胆道悪性疾患	〃	〃	〃	〃
			肝臓良性疾患	〃	〃	〃	岡本 好司(学外)
			肝臓悪性疾患	〃	〃	〃	〃
			膵臓良性疾患	〃	〃	〃	佐藤 典宏
			膵臓悪性疾患	〃	〃	〃	〃
			脾臓外科・門脈	〃	〃	〃	佐藤 永洋